
組積壁による耐震補強工法「安震ブロック-RM耐震補強工法」を改良

適用範囲を拡大し、さらに使い易く

RM耐震補強工法協会

株式会社浅沼組

株式会社新井組

株式会社松村組

太陽サーブ株式会社

株式会社浅沼組（代表取締役社長 浅沼誠）、株式会社新井組（代表取締役社長 馬場公勝）、株式会社松村組（代表取締役社長 村上修）、太陽サーブ株式会社（代表取締役会長 石井克侑）の4社は、小型・軽量のRMユニットを用いた組積壁による耐震補強工法「安震ブロック-RM耐震補強工法」において、柱付きドア開口を設けた増設壁または増打ち壁による補強工法を開発し、2021年9月7日付で一般財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました。

本工法は、業務を中断することなく狭小な場所でも工事が可能であり、工期を短縮できるなどの特長があることから、これまで順調に施工実績を積み重ねてきました。今回の改良によって、アンカー接合方式（アンカー工法）の場合には開口を設ける際のそで壁部分が不要となり、従来の鉄筋コンクリート壁による補強工法のほぼ全てをRM耐震補強工法によって行うことが可能になりました。

本工法の普及と技術の向上を目的として2008年に設立した「RM耐震補強工法協会」では、協会への入会会社を募集しております。協会へ入会し、会員となることによって、本工法の設計・施工が可能になります。

【工法の特長】

- ① 型枠工事の大半が不要、資材搬入が容易など、合理化された施工方法により、短期間での工事が可能です。
- ② モルタルの充填にはモルタルポンプを用いるため、コンクリートポンプ車に比べて騒音・振動が低減できます。また、従来の型枠工事が省略できるため、狭小な場所での施工が可能になります。
- ③ 型枠材の消費を低減できるため、環境保全に貢献します。
- ④ 既存躯体との接合は、アンカー接合方式と接着接合方式の2タイプがあります。アンカー接合方式は、鉄筋コンクリート造の耐震壁とほぼ同等のコストで適用できます。接着接合方式は、騒音・振動を大幅に低減できます。
- ⑤ 在来工法の鉄筋コンクリート増設耐震壁と同等のせん断耐力があるので、建物に必要となる耐震補強箇所は在来工法を用いた場合と変わりません。

【施工順序】

(アンカー接合方式を用いた場合)

- ① 既存躯体（柱・梁）の仕上げ材を撤去して、取り合い部分の目荒しを行います。RM 増打ち工法の場合、既存壁面の処理は行いません。
- ② 柱・梁にあと施工アンカーを打設します。
- ③ RM ユニットの組積および壁筋の配筋を行います。
- ④ RM ユニット内部に流動性の高いモルタルを充填します。
- ⑤ RM 壁と既存梁との隙間に型枠を設置します。
- ⑥ 壁と既存梁との隙間に無収縮モルタルを充填します。

(接着接合方式を用いた場合)

- ① 既存躯体（柱・梁）の仕上げ材を撤去して、柱の取り合い部分の目荒しを行います。
- ② エポキシ樹脂によって梁に定着プレートを接着します。
- ③ RM ユニットの組積および壁筋の配筋を行います。
- ④ RM ユニット内部に流動性の高いモルタルを充填します。
- ⑤ RM 壁と既存梁との隙間に型枠を設置します。
- ⑥ 壁と既存梁との隙間に無収縮モルタルを充填します。

【記事に関するお問合せ先】

| | |
|----------------------------|------------------|
| 株式会社浅沼組 本社技術研究所 | 森浩二 |
| 〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 3-24-1 | TEL 072-661-1620 |
| 株式会社新井組 建築本部本店建築部技術グループ長 | 蘓鉄盛史 |
| 〒662-8502 西宮市池田町 12-20 | TEL 0798-26-8498 |
| 株式会社松村組 建築本部参与（建築技術担当） | 柏木隆男 |
| 〒530-8588 大阪市北区天満 1-3-21 | TEL 06-6354-8806 |
| 太陽サーブ株式会社 営業工事部副部長 | 横田誠司 |
| 〒553-0006 大阪市福島区吉野 4-22-9 | TEL 06-6466-6756 |

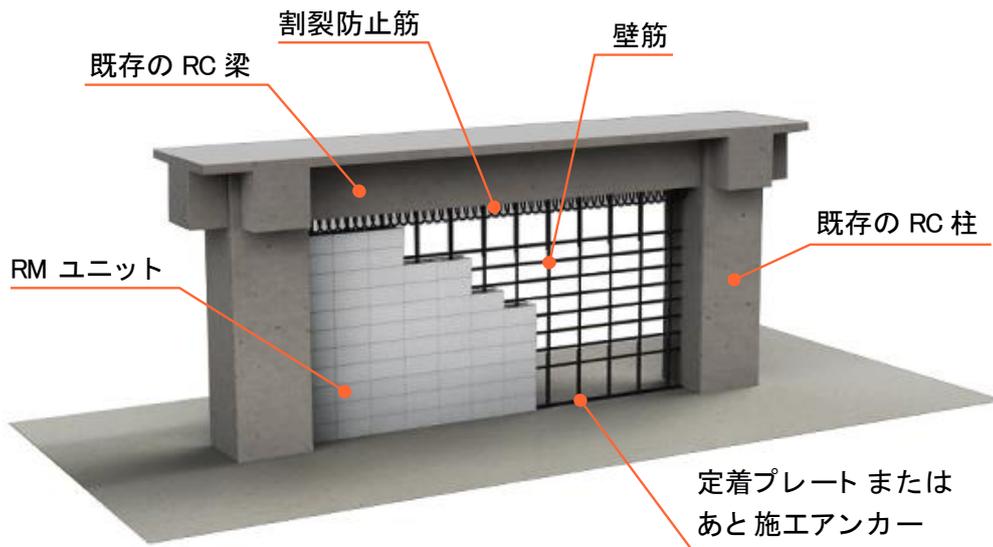
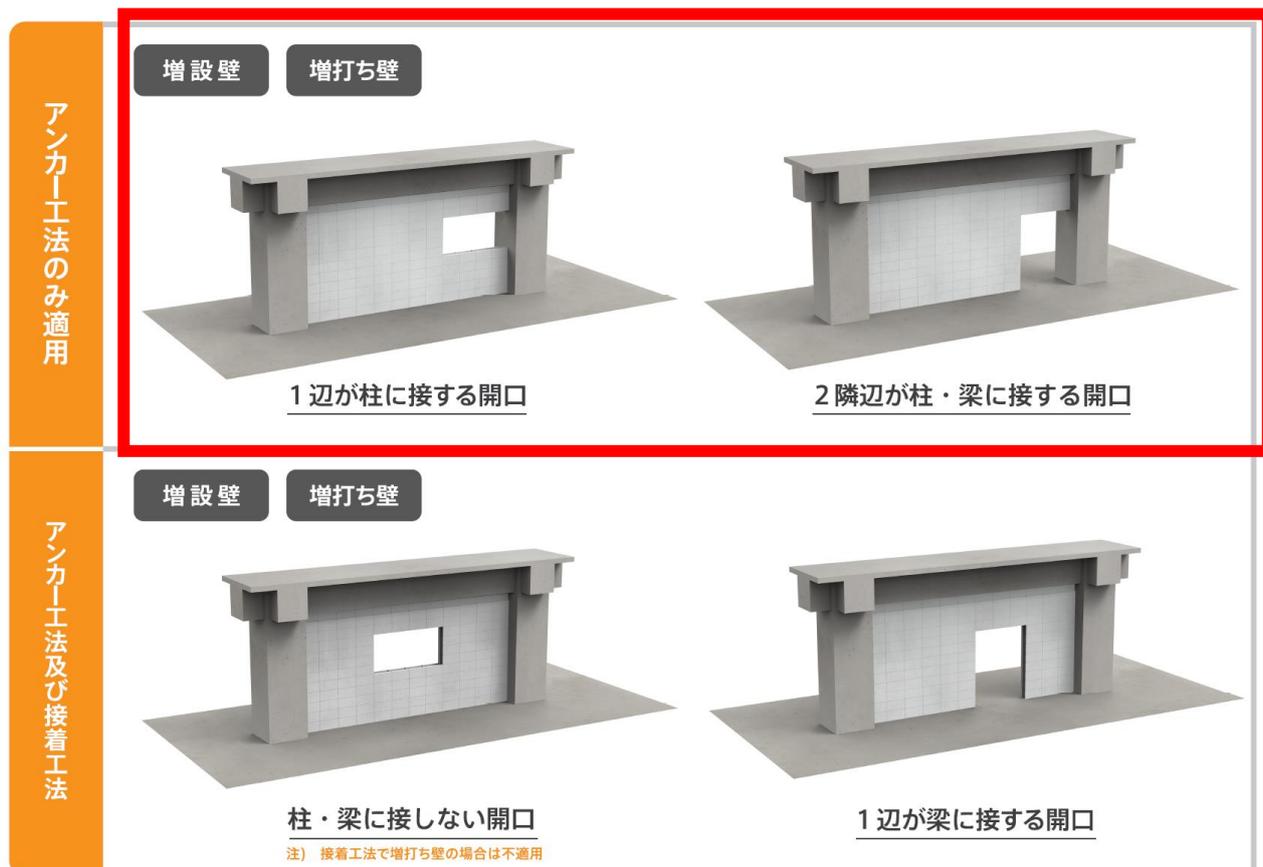


図-1 RM 耐震補強工法の概要



— 今回の改定で可能となった工法

図-2 開口の適用範囲

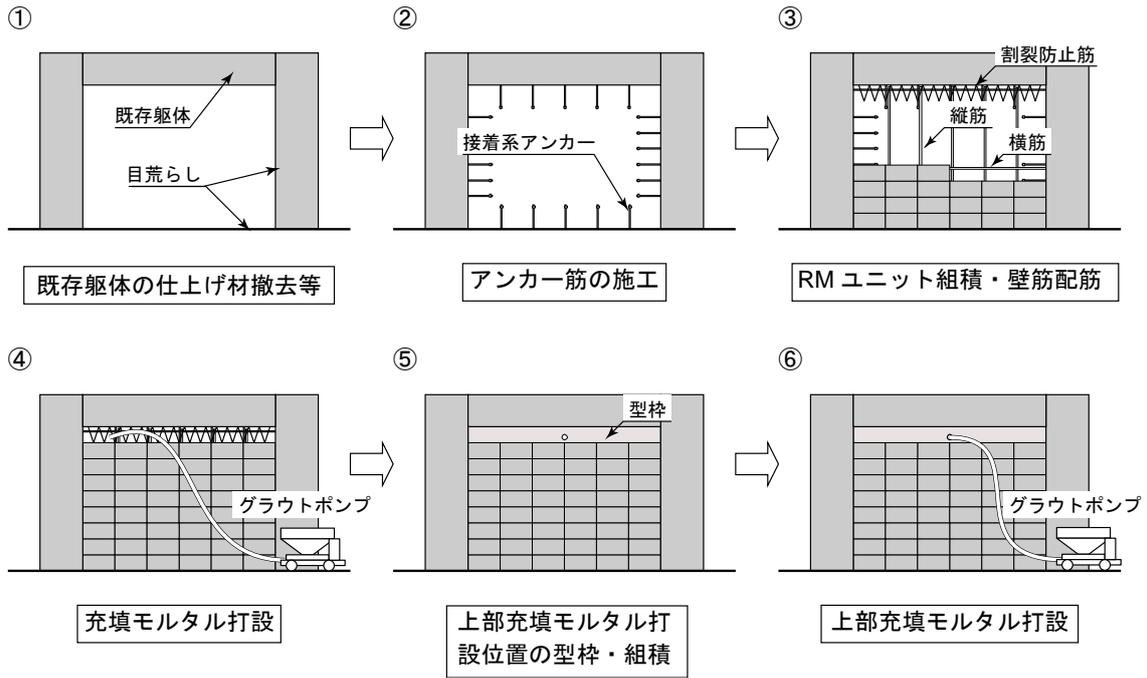


図-3 アンカー接合方式による施工手順

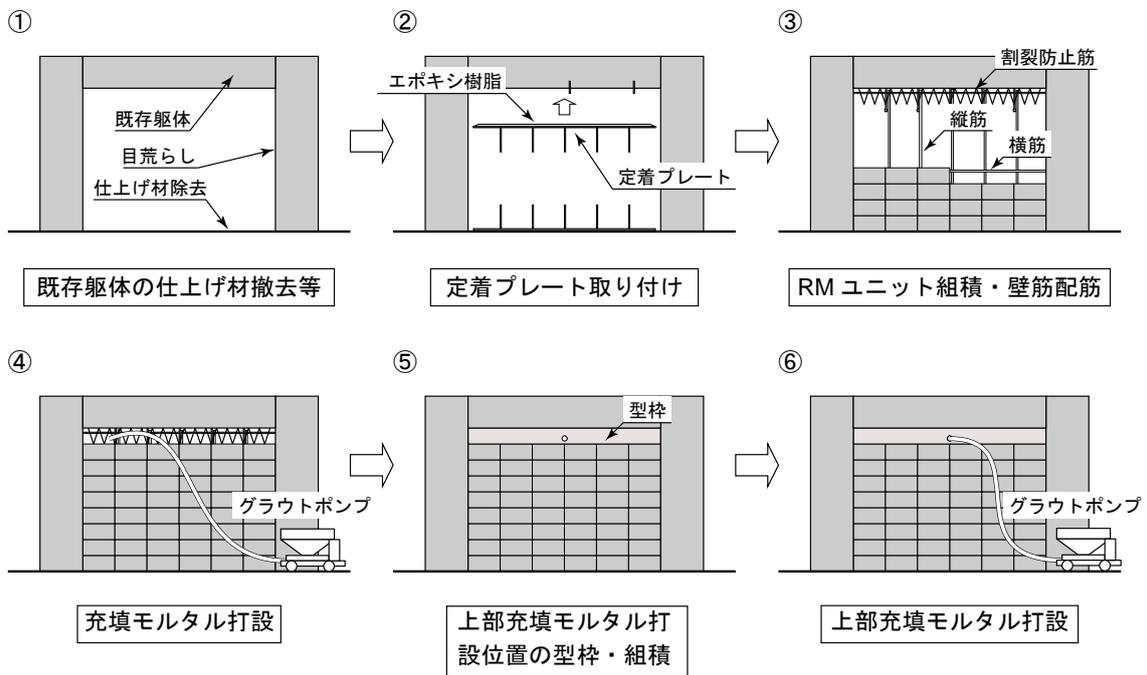


図-4 接着接合方式による施工手順